

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年三月度 入選句 (投稿総数二千五百九十五句・小中学投句数千九百五十九句)

特選

選者 和田 勝子

妹のつくしのおみやげてんぷらに 大垣市 傍島 倫(小四)

暖かな陽ざしと共に桜の開花の知らせも耳に入ってくる今日この頃ですね。「水の都おおがき舟下り」も始まり春そのものですね。

作者も、この陽気な日々を大切にと思い野山を散策されたのでしょうか。そこで見つけたつくしをたくさん摘まれたんですね。両手いいハンカチいっぱい摘まれたのでしょうか。

持ち帰られたつくしをお母さんがお料理されたんですね。摘み立てのつくし料理が食卓に並び、皆で食されていらつしやるとつても楽しい和やかな家庭ですね。頬もゆるみます。とつてもすばらしい句です

夜の空うつすら見えたおぼろ月 大垣市 小塚 允寛(小四)

咲き始めた桜の便りが連日ニュースになり、快晴の日々が続きますね。先日満月の夜の様子作者は見られたのですね。空気が澄んでいた頃と異なり、この頃は、薄絹に包まれたような柔らかな眺めになつてますね。作者も偶然見られた月が、霞のかかったような柔らかなお月様だったのですね。その時その時の情景を詠もうとされる作者の意気込みがすばらしいですね。

いちごたべあまいかおりがたちこめる 大垣市 ささき ゆいな(小一)

スーパーの店先や道の駅などで真赤に熟れたいちごが「今が旬ですよ。食べごろですよ。」と言わんばかりに並んでいます。食後のフルーツかおやつの時間に食べられた時の気持ち素直に詠まれたのですね。口の中いっぱい甘さと香りが広がったのですね。素直なすばらしい句ですね。

秀逸

春風が春っておしえるゆうびんや 大垣市 新井 日葵(小一)

通学路さくらの花がちらほらと 大垣市 小森 皓介(小一)

卒業歌最後の一音少しずれ 大垣市 村山 聖奈(中三)

舞落ちる桜につつまれ待つ未来 美濃加茂市 長谷部 柚羽(中二)

山の上切ない顔出す朧月 美濃加茂市 今井 夢菜(中二)

つくしがねによきによきとかおだした 大垣市 たに あげは(小一)

おはようと虫たち目覚める春が来た 大垣市 糺矢 みう(小四)

北風が家のまどべで歌い出す 大垣市 傍島 成耶(小四)

ひな祭この日は私がおひめさま 大垣市 川瀬 唯華(小五)

おにぎりがうらやましいのばしようさん 大垣市 小林 和花子(小一)

入選

ふきのとうキャベツみたいおもしろい 大垣市 しみず もみじ(小一)
 えほうまきねがいをこめてもくもくと 大垣市 さいとう しゅん(小二)
 梅の花まぶしい太陽照らす朝 大垣市 さいとう ゆ衣(小四)
 さみしさとうれしさわいてく初桜 大垣市 竹中 菜々子(小六)
 卒業し未来の自分にまた一步 大垣市 吉田 麻那(小六)
 散歩して犬の鼻の先たんぼぼが 大垣市 神徳 和響(小六)
 そらたかくすがたみえずひばりかな 大垣市 たかはし なおや(五才)
 まだかなあさくらさけさけはやくさけ 大垣市 鈴木 駿次朗(六才)
 はるのかぜぼくのぼうしがとぼされる 大垣市 伊藤 壮軌(五才)
 うめのはなにおいがするよむすびのち 大垣市 おはら みれい(六才)

入選

穴開いた雑巾しまつて卒業す 大垣市 安田 明瑠(中三)
 母の手の赤切れ見えて感謝する 美濃加茂市 片桐 大耀(中二)
 かわのなかめだかのこどもちちやいな おかじま あつひろ(小一)
 はるのかぜこっちきてよとさそつてる 大垣市 もり ゆのか(小一)
 つくしんぼいろんなどかくれんぼ 大垣市 すず木 しゅうじ(小一)
 つぼみみるはるのおとずれどきどきだ 大垣市 堀井 玲奈(小四)
 やわらかな桜のつぼみに笑みうかぶ 美濃加茂市 岩田 奈々子(中二)
 家の庭蝶のダンスが始まった 美濃加茂市 藤吉 楓(中二)
 せいぞろい香り広がる春祭り 大垣市 富岡 香保(小五)
 れんげ草見つけて歩く散歩道 大垣市 高木 菜摘(小五)

選者吟

強東風の老舗の旗を巻き上げる

勝

子